



追手門学院大学アメリカンフットボール部『SOLDIERS』
今年もあけぼのグラウンドで夏合宿!! 8/8-16



大阪府にある追手門学院大学のアメリカンフットボール部『SOLDIERS』は、昨シーズン、関西学生3部リーグで見事全勝を収め、2部リーグ昇格を果たした上昇軍団。

よりハイレベルな戦いが予想される秋リーグの開幕を目前に控え、昨年に引き続きあけぼのグラウンドで10日間にわたり夏合宿を行いました。

「この夏合宿が選手にとって重要な位置付けである」と話すのは同部の指揮をとる玉井康大監督。チームの強化と課題克服を目標に猛暑の中でも走り続ける選手の姿を見守り、「部員全員でアメフト漬けの時間をともにして技術面と精神面を鍛える、チームの最終仕上げとなる大事な時間ひろとと力強く話します。

キャプテンを務める高橋弥斗さんは2年目となる愛南町での夏合宿について、「普段の練習環境に比べて涼しく虫も少ない、また宿舎もクラブハウスも隣接しているため猛暑の中でも全力で練習を行えています。今年から昇格した関西学生2部リーグで上位に食い込めるよう、この夏合宿でチームの勢いを上げていきたい」と意気込みました。

合宿初日には、町内でサッカーに励むスポーツ少年団の児童がフラッグフットボールで交流しました。同部は、以前から子どもたちを対象にアメリカンフットボールの体験教室を実施しており、アメフトの魅力を感じてもらい若年層への普及に努めてきました。

体験教室で大学生と子どもたちが汗を流したフラッグフットボールは、アメリカンフットボールで行うタックルの代わりに腰の左右につけたフラッグを取るというもので、原則として選手同士の接触は禁止とされていることから、幅広い世代で多くの人に参加しやすい競技となっています。児童たちは初めて体験するスポーツにも関わらず、わずか2時間の間にルールを把握し、時間の許す限り大学生との交流を楽しみました。



SOLDIERS
公式Instagram



愛媛
CATV
動画

6/23 第22回愛南町ラケットテニス大会

愛南町ラケットテニス協会主催の「第22回愛南町ラケットテニス大会」が、御荘B&G海洋センターで開催されました。

大会では、町内の9団体41人が3つのクラスに分かれ、日ごろの練習の成果を発揮し、熱い戦いを繰り広げるとともに、ラケットテニス愛好家同士の交流を深める機会となりました。

【大会結果】

シニア混合の部 優勝:武井・松田ペア 準優勝:木村・草木原ペア 第3位:草木原・藤田ペア
 女子ダブルスの部 優勝:内山・桑原ペア 準優勝:尾崎・豊久ペア 第3位:坂本・河野ペア
 フリー混合の部 優勝:赤岡・尾崎ペア 準優勝:長山・山田ペア 第3位:和泉・和泉ペア



愛媛
CATV
動画

7/7 第16回グリーンカップ女子6人制バレーボール大会

愛南バレーボール協会主催の「第16回グリーンカップ女子6人制バレーボール大会」が、御荘B&G海洋センターで開催され、町内で活動する4チームが白熱した戦いを繰り広げました。

【大会結果】

優勝:ピクルス 準優勝:一本松VC



▲優勝:ピクルス

7/13 B&G会長賞御荘B&G海洋センター水泳記録会

御荘B&G海洋センター屋内プールで町内4小学校と高知県よりスポーツクラブ宿毛、四万十町窪川B&Gの計6チーム106人の参加のもと、「御荘B&G海洋センター水泳記録会」が開催されました。

水泳記録会を通じて参加スイマーの親睦を深め自己ベストタイムを目指し力強い泳ぎを披露し、今回5年ぶりとなる大会新記録が2種目も出るなど、満員の観客から温かい声援のもと盛会のうちに終了しました。



愛媛
CATV
動画



▲保護者や仲間の声援を受け、全力で泳ぐ選手たち

7/21 第44回愛南レクバレーボール大会

愛南バレーボール協会主催の「第44回愛南レクバレーボール大会」が、御荘B&G海洋センターで開催されました。

大会では、町内の4チームが総当たり戦を行い、激闘の末「SAKURA」が前回に続き優勝を飾りました。

【大会結果】

優勝:SAKURA 準優勝:ワンピース 3位:向日葵



▲優勝:SAKURA

7/23 第18回南宇和郡小学校水泳競技大会

城辺小学校プールで「第18回南宇和郡小学校水泳競技大会」が開催されました。保護者や仲間たちからの声援にパワーをもらい、出場した約180人の選手たちは入賞・自己ベスト更新を目指して力強い泳ぎを見せました。

**▶ 男子****▶ 女子**

吉田モミエさん(城辺甲)が愛南漁協に油絵『鰹の水揚げ 愛南漁協』を寄贈

広報あいなん(令和5年5月号)「私と〇〇」のコーナーで紹介した油絵製作に励む吉田モミエさん。

県展の最高齢受賞者である吉田さんが昨年手掛けた作品は、愛南漁協深浦本所で写真に収めたカツオの水揚げ風景。細部まで丁寧に描き上げられた作品は秋季県展で見事36回目の入選を果たし、吉田さんの意向を受けた愛南町文化協会会長の林仁さん協力により愛南漁協深浦本所に寄贈する運びとなりました。

「立花弘樹組合長をはじめ職員の方々の協力により、念願となるカツオ水揚げ風景を書くことができた」と受賞を振り返る吉田さんはまもなく99歳。「たくさんの方に絵を見てもらえるとうれしい」と話す吉田さんは、立花組合長にプレゼントしてもらって初めて食べた『びやびやかつお』の美味しさに衝撃を受けたと言います。

今にも動き出しそうなほど躍動感あふれる作品に感動した様子の立花組合長は「寄贈していただいた作品を通じて、四国一の水揚げ量を誇る愛南のカツオのPRにつなげていきたい」と笑顔で話しました。



愛媛
CATV
動画



7/31 - 8/14

愛媛県指定無形民俗文化財「久良の能山踊り」^{のうざん}愛媛
CATV
動画

愛媛県指定無形民俗文化財の「久良の能山踊り」が、能山踊り保存会により今年も無事執り行われました。

400年以上続くこの踊りは、戦国時代末期に南宇和地方を領した勤修寺左馬頭基賢（別名：能山公）が、土佐の長宗我部氏との戦いに敗れて久良の地に逃れ、当地で没したため、その能山公の霊を慰めるために始まったと伝えられています。昔は鉦も使われていましたが、現在使われる楽器は太鼓のみ。太鼓打ちを中心に、着流し姿の男性たちが扇を持って1番から8番まである歌を歌い、緩やかな動作で踊ります。

能山踊りは毎年7月31日から8月13日までは夜に古木庵で踊り、最終日の14日は朝から久良漁協で浜踊りをした後、古木庵に戻って締めくくることが決まっています。踊る期間が厳密に決められている能山踊りは、例え練習のためであっても期間外に踊ることはありません。

2週間にわたる踊りの期間中に雨の日が一日もなかった年は珍しいと笑顔を見せる世話人の鎌田輝文さんは、「初盆を迎える方や地域のご先祖様のことを想いながら心を込めて踊りました。今年も無事に奉納することができたという喜びと同時に、保存会メンバー全員が健康で来年も能山踊りの初日を迎えたいという気持ちでいっぱい」と話しました。



8/14

愛媛県指定無形民俗文化財「はなとりおどり（増田）」

愛媛
CATV
動画

愛媛県指定無形民俗文化財の「はなとりおどり（増田）」が増田地区の安養寺の境内で執り行われました。

450年以上の歴史を持つ増田のはなとりおどりは、踊り子8人、鉦叩き3人、太鼓叩き1人が、麻の藍染の着流しにたすきを掛け、両締め鉢巻き姿で約2時間にわたり踊ります。他の行事に比べても禁忌とされる事項が多いと言われており、四隅にサカキを立て、しめ縄で囲んだ踊り場は「結界」であり身体を清める必要があることから、踊りの関係者は不浄のものを摂らないよう5日前から肉・魚等を食べることができません。

また、旧暦の7月11日に行われるこの踊りを一度だけ新暦の8月11日に行ったところ、思わぬ怪我人が出たことから今でも旧暦で行われています。

はなとりおどり保存会の近田正二会長は「少子化で踊り子の担い手問題等あるが、地域の方々の協力で無事に開催できている。伝統あるこの踊りを今後も地域一丸となって守っていきたい」と話しました。

最後は真剣で結界の縄を斬って終わりを迎え、踊りに使用された竹・しめ縄はお守りとして踊りの関係者や地域住民が持ち帰りました。

